様式３（2020.08改）

作成日　令和２年１０月２９日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100109
事業所名	グループホーム額田あじさいの家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域を対象として実施していた認知症サポーター養成講座を、新たに中学生を対象として実施し、大きな反響があった。しかし今年度はコロナ禍によって開催を自粛しており、何とか年度内の再開を目指している。 利用者6名と職員3名が地域の小学校で行われた「世代交流会」に参加し、伝統の遊びなどを紹介し、子どもたちと一緒に楽しんだ。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍によって、令和2年1月の開催を最後に運営推進会議が中断している。 市の指導に従って書面開催とし、会議メンバーに対して電話で連絡し、ホームの状況を説明した文書を送付している。 それらを取りまとめた議事録を作成し、市と会議メンバーに送付している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	特段の問題がないかぎり市に出向くことは少ないが、定期的な報告や連絡を行って連携を図っている。 コロナ禍で中断していた市内のグループホーム事業者で構成する小部会が再開され、新型コロナウイルスの感染防止対策等が話し合われている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	家族の面会禁止の措置が継続して実施されており、家族や利用者から面会を求める声が上がっている。 利用者の様子を知りたい家族のために、毎月発行の「あじさい新聞」に利用者の写真を載せ、職員が手紙を書いて伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍によって、令和２年１月の開催を最後に運営推進会議が中断している。
市の指導に従って書面開催とし、会議メンバーに対して電話で連絡し、ホームの状況を説明した文書を送付している。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										